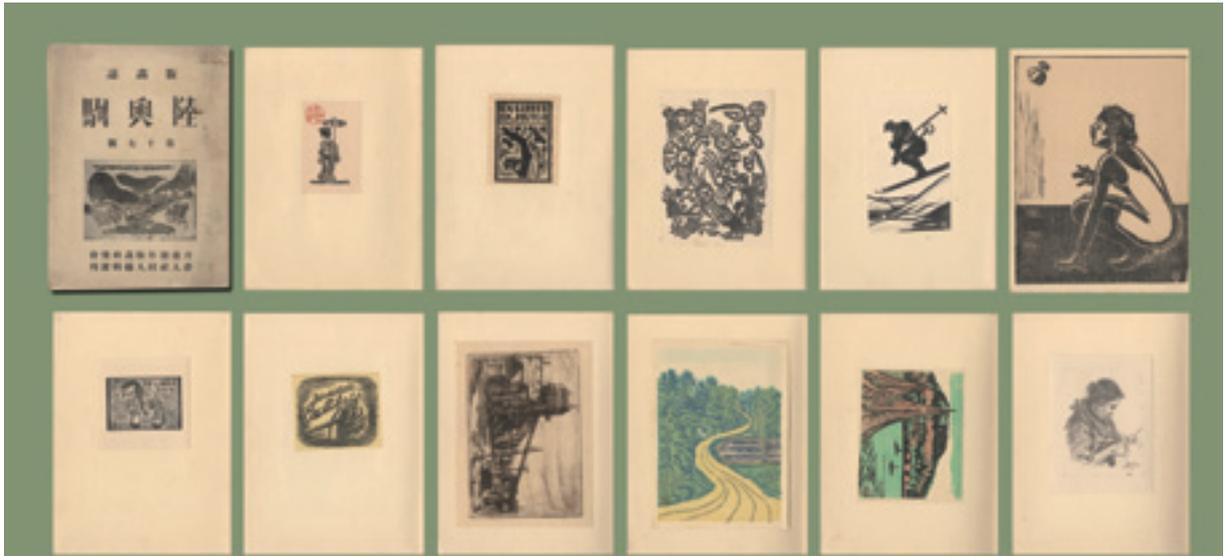




12 木版画集 版画長崎 第2-7輯（終刊）

6冊 田川憲一／松崎卯一／岩崎勝太郎／平塚運一／小林長太他 自画・刻・摺 第2輯：8枚の内1枚欠 限120
 ／第3輯（博覧会記念特輯号）：8枚の内2枚欠 限120／第4輯（版画特輯号）：10枚 限80／第5輯：11枚の
 内3枚欠 限120／復刊第6輯：4枚 限100 田川憲毛筆献呈署名入／終刊号：4枚 限200 版画一部経年シミ
 昭和9-38年（1934-63）版画長崎の会 150,000円



13 版画誌 陸奥駒 第17号

11枚（川上澄生：人物／武藤完一：蔵書票／棟方志功：蟹々集まる／中田一男：蔵書票／
 小林朝治：スキー／島田要：おじやみ／佐藤米次郎2枚：蔵書票・朝鮮風景A／関野準一郎
 ：雪切りの頃（エッチング）／福島常作：風景／今純三：習作（ゼンク版）限50 表紙 少汚レ
 24.5 × 17.7 青森創作版画研究会夢人社 昭和10年（1935） 100,000円



藤牧義夫〈水辺〉 5.8 × 8.9 (紙 6.4 × 10)



水船六洲 8.9 × 6 (10.3 × 7.3)



小野忠重 5.8 × 8.9 (7.3 × 10.3)



※昭和10年6月16日に西田武雄エッチング研究所に銅版画講習会で集まった時の写真



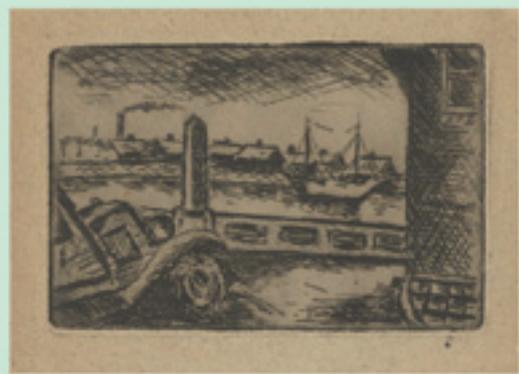
松下義雄 9 × 5.9 (10 × 6.8)



矢田卿二 5.9 × 8.9 (7.4 × 10.5)



吉田正三 6 × 9 (7.8 × 10.6)



堀一恵 5.9 × 9 (7.7 × 10.4)



清水正博 8.9 × 6 (11.6 × 8.2)



14 新版画集団銅版画集

全 8 枚 (水船六洲／松下義雄／小野忠重／清水正博／吉田正三／矢田卿二／堀一恵／藤牧義夫)

昭和 10 年 (1935)

2,000,000 円

※昭和 10 年 (1935) 6 月 16 日に、西田武雄日本エッチング研究所で催された新版画集団の銅版画講習会において、エッチングの試作をした時の貴重な資料。その中の一人である松下義雄の旧蔵品。



15 新時代版画集 前・後輯

木版 全10枚 前輯 中村不折：天竜峽之景／石川寅治：戯れ／永地秀太：憩ひ／三上知治：護用犬（シミ）／鶴田吾郎：吉原の富士 後輯 満谷國四郎：裸女／吉田博：剣山／奥瀬英三：南紀瀨峽（薄シミ）／高村眞夫：京の舞妓／布施信太郎：南洋ヤップ島 各毛筆署名入 帙 40.5×27.5（紙サイズ）日本新版画協会 昭和11年（1936） 320,000円



16 きつつき版画集 昭和17年版

木版 全22枚 前田政雄/塚本哲/小川龍彦/石崎重利/棟方末華/北岡文雄
 /武田由平/武藤完一/中野喜平/高橋忠雄/橋本興家/江端芳市/岩島勉
 /野津佐吉/上野誠/黒木貞雄/柿原俊男/佐々木孔/下澤木鉢郎/小野忠明
 /岩田覺太郎/畦地梅太郎/平塚運一 限100 帙 別紙会員各位挨拶文
 渡辺六郎旧蔵 34.8 × 27 (台紙サイズ) きつつき会 昭和17年 (1942)

150,000 円



17 現代名家肉筆画帖

全12枚 (志村立美/林唯一/今村恒美/鴨下晃湖/花房英樹/三谷一馬/加藤敏郎/宮尾しげを/田中比
 佐良/菅創吉/細井繁誠/西原比呂志) 紙本 彩色 サイン 角台紙貼 (一部シワ・シミ) 一部シミ アルバ
 ム仕立 木箱 32.5 × 45 (紙サイズ) えくらん社 昭和36年 (1961)

250,000 円





18 雑誌 工藝 創刊-120号 (終刊)

全120冊 1号・3号：赤線引 40号：奥付に書込ミ 114号：見本和紙2点にシミ 117号：広告頁に書込ミ
昭和6-26年 (1931-51) 850,000円

※雑誌「工藝」は、柳宗悦によって昭和6年より月刊誌として刊行された。富本憲吉・河井寛志次郎・浜田庄司・青山二郎・芹沢銈介・棟方志功等、工藝界を代表する作家が参加。その贅沢な造本・内容は他に類を見ないものである。装丁には、手織り布・漆・版画・型染等、また本文の頁には手漉き和紙が使われる。毎号テーマを決め(例：李朝・大津絵・絵馬・和紙・染付・民窯・漆など)、参加メンバーによる論考や挿絵など、日本の工藝文化の発展に大きく貢献した、歴史的工藝研究雑誌。



19 浅井忠 花嫁

銅版 ローマ字 (ASAY) による版上サイン 27.5×19.5 (紙サイズ)
明治期 ※近代日本版画大系第1巻 (毎日新聞社) 所収 400,000 円

浅井忠 (洋画家 江戸生 1856-1907) : 日本近代洋画の先覚者。工部美術学校でイタリア人画家フォンタネージに学び、フランス留学によってその才能は開花する。その後、東京美術学校教授・京都高等工芸学校の教授となり、多くの画家を育てる。版画については、渡欧時代のアールヌーヴの影響に見られる黙語図案集など木版刷の図案集がほとんどである。本作品のような写実の版画は希少で、現存数は極めて少ない。



20 畦地梅太郎 日光の山
木版 自摺 マージン角少折レ跡 30.5×45.5 昭和15年(1940)
250,000円



21 畦地梅太郎 部落の家(満州)
木版 自摺 別刷10部 サイン シミ 傷ミ 22.5×33 昭和19年(1944)
額装(マットシミ) 200,000円



22 畦地梅太郎 沢峠の小沼
木版 自摺 共帙 25.5 × 36 昭和 24 年 (1949)

200,000 円



23 畦地梅太郎 槍ヶ岳
木版 限 50 サイン 自摺 シミ 40.5 × 30
昭和 27 年 (1952) 120,000 円



24 畦地梅太郎 山男
木版 限 100 自摺 サイン (裏面にも
題字・サイン) 22.5 × 15.3 昭和 30
年 (1955) 80,000 円